

CLEAN-UP

平成28年度クリーンアップ推進員会議

平成28年度のクリーンアップ推進員会議は、5月13日（金）午後6時15分より千歳市民文化センター北ガス文化ホール4階の大会議室で開催された。

来賓として、千歳市環境センターの山本廃棄物対策課長と（公財）ちとせ環境と緑の財団の長谷川常務理事を迎え、クリーンアップ推進員64名の参加があった。

会議では、斎藤会長を議長とし、報告第1号「平成27年度クリーンアップ推進員会事業結果報告」が事務局から説明があり、報告済みとなった。次に、議案第1号「平成28年度クリーンアップ推進員会



事業計画（案）について」が事務局から説明があり、クリーンアップ推進員の挙手による決議を行い、賛成多数で原案どおり決定した。

続いて、その他として「紙パック奨励金寄附実績」が事務局から配布資料に基づき説明があった。

質疑応答では、集団資源回収実績が27年度は前年度と比較して減少しているとの質問があり、それについて、財団からは例として新聞の購読者数の減少や新聞販売店での新聞回収などの複合的要因が考えられるとあった。

推進員として、集団資源回収の動きに関心を持って取り組んでいることがよくわかる会議であった。

開会から滞りなく進行し、約1時間で会議は閉会となった。

発行責任者

公益財団法人
ちとせ環境と緑の財団
理事長 五島 洋子

Tel 0123-26-1213

この推進員便りは
(株)カミノ様のご協力により印刷
しております。

エコ社会の講演会



5月13日（金）午後5時20分から午後6時00分まで、講師に千歳科学技術大学の石田宏司名誉教授をお招きして、「江戸時代は究極のエコ社会」をテーマに、資源の循環型社会についての講演会を開催した。

江戸時代は今でいうリサイクル業を生業とする業者が営業的に成立しており、エネルギー循環型社会であったことが事例とともに紹介された。

現代のような科学技術を持たない江戸時代でも、意識さえあれば循環型社会を構築できることをこの講演を通して学ぶことができ、講演会に出席したクリーンアップ推進員からもたいへん好評であった。

平成28年度

第1回クリーンアップ推進員研修会

6月22日（水）に、クリーンアップ推進員32名と財団役員5名の総勢37名で、再資源化に係る施設見学を行った。

(株)マテック石狩支店OA機器解体工場

使用済み小型家電の基盤から貴金属が回収されている。実際に、それら回収されたものから生成された金塊等に触れる機会もあり、都市鉱山という言葉を目の当たりにすることとなった。

小型家電の基盤には金、銀などの貴金属が使用されている。実際に、それら回収されたものから生成された金塊等に触れる機会もあり、都市鉱山という言葉を目の当たりにすることとなった。



王子製紙株苦小牧工場

必要を実感することとなった。各施設では推進員も積極的に質問をしていた。

まずはビデオによる事業内容と施設の説明を受けた後、実際に機械の稼働している施設へと移動した。

各施設前では、掲示された説明資料や模型を基にして、案内係からその工程の説明され、推進員からも質問が飛び交っていた。

普段は見ることができない大型の製紙機械が稼働する姿を見ることができて、貴重な経験となった。

木くず、紙くず等から生成された固形燃料（RPF）を手に取ることもでき、無駄のない資源の再利用を確認することができた。

ペットボトルのリサイクル工程では混入物の選別が手作業で行われており、事前の分別作業の重要性を実感することとなった。

表彰式（永年功労）



平成28年度クリーンアップ推進員表彰式（永年功労）が5月13日（金）に千歳市民文化センターで行われた。受賞者は永年（7年以上）にわたって推進員として、資源回収に活躍し、町内会と財団との連絡調整役として尽力したことが称えられた。

受賞された方

- | | |
|-----------|---|
| ●福住町内会 | 様 |
| ●金子富雄 | 様 |
| ●栄町東町内会 | 様 |
| ●高島毅 | 様 |
| ●大和1丁目町内会 | 様 |
| ●緒方政子 | 様 |
| ●自由ヶ丘町内会 | 様 |
| ●高橋生一 | 様 |
| ●弥生町内会 | 様 |
| ●竹中一夫 | 様 |
| ●祝梅町内会 | 様 |
| ●近藤昭夫 | 様 |



集団資源回収を訪ねて

今回、錦町3丁目町内会を訪問して、町内会で総務担当の万名さん、婦人部の北岡さん、畠山さん、高津さん、大宮さんにお話を伺いました。

こちらの町内会は歴史ある町内会で人と人の絆が強い町内会です。

回収方法は2ヶ所での拠点回収を実施しています。集積場所への搬入は午前8時半から受け入れ、業者による回収が行われる予定の午後1時半までの間に、回収対象外のものが入混じっていないかを、主に婦人部の方々が丁寧に確認し、紐でしっかりと縛ってまとめる作業を行っていました。

歴史が長く、また、全部で13戸と小さな町内会であるため、住む方々の顔が互いに見えること、日頃から各家庭で分別を徹底する意識が高



クリーンアップ推進員
村本昭子さん

錦町3丁目クリーンアップ推進員で28年目の大ベテランの村本さんにもお話を伺いました。

全体的に排出マナーは守ら



(後列 左から) 万名さん、北岡さん
(前列 左から) 畠山さん、高津さん、大宮さん



いことから排出マナーはとても良いとのことでした。

屋外の拠点回収なので、悪天候時の回収が気になりましたが、集積場所の町内会館には玄関口にひさしがあるため、天候に関わらず回収は滞りなく行われるとのことでした。

れているが、世代が変わることで、それがうまく引き継がれていないと感じることもある。これについては、文書を配布して啓発を行ったり、気付いた時に声掛けしたりと啓発を行っているそうです。

戸数が少なく回収量も少ないのですが、この町内会では推進員以外にも作業を協力してくれる人が多く、今後も皆で協力して集団資源回収に取り組んでいきたいとのことでした。

第35回リサイクルフェスティバル

第35回リサイクルフェス

ティバルは8月6日(土)に開催され、クリーンアップ推進員は、(公財)ちとせ環境と緑の財団とともに、午前8時半より車からの荷下ろしや陳列整理、テント設営などの準備作業を行った。

午前10時の打ち上げ花火と同時に、再生活用品展示即売会では、クリーンアップ推進員はテーブル、衣類ケース、カラーボックスなどを中心に70品、古本約200冊の販売に携わった。

リサイクル自転車無料抽選会では、応募者数が58人で、クリーンアップ推進員は応募用紙の配布や集計、用意された40台の自転車管理や当選者への自転車引き渡しに



携わった。

集団資源回収啓発コーナーでは、クリーンアップ推進員は集団資源回収の啓発用のチラシとティッシュ180組の配布を行った。

例年同様に、今年度のリサイクルフェスティバルも来場者数が約3000人と大盛況であった。

多くの市民の皆様へ、物を大切に使用する意識を高め、ごみの減量化とリユース・リサイクルに向けた啓発を行うことができた。



財団からのお知らせ

【傷害保険について】

財団では、クリーンアップ推進員を対象にした傷害保険に加入しています。

もしも、推進員としての活動中にケガや事故に遭われた場合には、病院で受診し、速やかに領収書を持って、財団事務所へおいで下さい。

もちろん、ケガや事故には、できれば遭いたくないものです。

また、この傷害保険が適正に活用されるように、推進員の交代があった場合には財団まで速やかにお届け下さい。

平成27年度分紙パック奨励金寄附

平成28年5月30日(月)に、紙パック分の奨励金を福祉に役立てることに賛同した133団体を代表し、自由ヶ丘町内会、高台町内会、清流町内会が平成27年度第3、4半期分の紙パック奨励金35,913円を千歳市社会福祉協議会へ寄附した。

寄附金は車椅子など福祉機器の購入資金に役立てられた。

(写真左から) 環境と緑の財団 五島 洋子 理事長、社会福祉協議会 力示 武文 会長
自由ヶ丘町内会 古川 昌俊 会長、高台町内会 蔵谷 正美 副会長、清流町内会 畑 元康 副会長



オフィスの
プリント環境を
考える

RISO 世界最速カラープリンター
オフィス GDシリーズ

Community & Solution
株式会社 カミノ
本社 千歳市新富3丁目3-24
TEL (0123) 23-4255
FAX (0123) 24-1381
科技大売店・恵庭支店・北広島支店

